

● Infomation ●

イベントカレンダー

エコシティ志木 イベント情報

河童のつづら「お宝発見ツアー」
水とのかかわりを訪ねて(第9回)～柳瀬川の上流を歩く～

日時:平成17年9月25日(日)午後1時～ ※雨天中止
集合:東武東上線「柳瀬川」駅改札前 ※1:09の電車に乗車
コース:東村山～北川～多摩湖
参加費:300円 ※中学生以下は無料
共催:財団法人埼玉県生態系保護協会 志木支部
問合せ:048-471-4275(毛利)



面白そうなイベント
ですね～!
皆さんも奮って
参加して下さいネ!

「いろはふれあいまつり」

日時:10月1日(土)午前10時～午後4時、2日(日)午前10時～午後3時
会場:いろは遊学館
内容:エコシティ志木は3階で柳瀬川の魚やパネル等を展示します。
問合せ:048-471-1297(いろは遊学館)



国土交通省 荒川下流河川事務所 イベント情報

荒川ロックゲートを体験しよう(クルージング体験コース)!!

第4回の見学会で視察した荒川ロックゲートが遂に完成しました!今回は船上で「水のエレベータ」を体験して見ませんか?

※いずれも土曜日で、時間は乗船場所により異なります。問合せ先で確認して下さい!

日時:平成17年10月15日、11月12日、12月17日
集合:小松川リバーステーション もしくは スポーツ会館前船着場
内容:荒川の小松川リバーステーションから小名木川のスポーツ会館前船着場の区間をオリエンタル号でクルージング!ロックゲートでは「水のエレベータ」を船上で体験!
参加費:無料
問合せ:03-3902-8745(荒川下流河川事務所 地域連携課) ※平日の午前10時～午後4時受付



備考:上記の「クルージング体験コース」に合わせて、周辺にロックゲートを見学する「大迫力!現地体験コース」も実施します。実施日は、10月22日、11月19日、12月10日の3日間(いずれも土曜日)、集合場所は荒川ロックゲート前です。こちらのコースにも奮ってご参加下さい! ※問合せ等は上記と同様です。

事務局便り

今年度のリレーフェスティバルは、各河川の川まつり、新河岸川流域フォーラム「新河岸川から狭山丘陵を歩いてみよう〜」とともに盛況の内に終了し、事務局としても「ほっ」と胸を撫で下ろしている次第です。

しかし、いつまでも余韻に浸っているわけにはいきません。暑かった夏が去って季節が秋に代われば、秋には秋の活動があるのです。リレーフェスティバルには入らなかった流域内の川まつりや秋ならではのイベントなど、この後もドンドン紹介していきます。

●連絡先

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
TEL:03-3902-3220 FAX:03-3902-2346
URL: <http://www.ara.or.jp/ara/shingashi/>
E-mail: shingashi@ara.or.jp

里川しんぶんや当川づくり連絡会の活動についてのお問い合わせや情報提供につきましては、右の連絡先までお気軽にどうぞ!!

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



VOL.35

発行:新河岸川流域川づくり連絡会(荒川下流河川事務所 調査課内)
住所:東京都北区志茂5-41-1 TEL:03-3902-3220 FAX:03-3902-2346
発行日:2005年(平成17年)9月15日



切り絵 毛利将範

目次

- P2-4 特集:新河岸川流域フォーラム
- P5-7 レポート:2005年「夏」川まつり
第2段として
黒目川(新座)、柳瀬川(志木)
黒目川(朝霞)、不老川(入間)
の4河川を報告
- P8 流域イベント・インフォメーション
事務局便り

季節はもう秋です!暑かった夏の終わりとともに今年のリレーフェスティバルも盛況の内に終わり、事務局一同「ほっ」と一息ついています。さて、今号ではそんなリレーフェスティバルの内、8月に行われた4つの川まつりと新河岸川流域フォーラムを報告掲載しています。川まつりの報告では前号と同様、紙面の許す限りではありますが、「今後の川まつりへの期待」について一言ずつ伺い掲載しました。秋の夜長に過ぎ去った夏を思い起こしつつ、新河岸川流域内で盛り上がった川まつりとフォーラムの様子を、本紙にてご確認いただければ幸いに存じます。

新河岸川流域フォーラム

新河岸川から狭山丘陵を考えてみよう～～～

の報告です！

今年もリレーフェスティバルのとりとして、8月27日（土）に所沢の早稲田大学118号教室にて、新河岸川流域フォーラムを実施しました。ここではフォーラムの様子について報告します。

午前中は2グループに分かれ、Aグループは早稲田大学構内B地区湿地、Bグループは比良の丘～八幡湿地～さいたま緑の森博物館（大谷戸湿地）～早稲田大学構内B地区湿地をめぐるウォーキングを行いました。

午後は、早稲田大学の太田先生による「新河岸川支川源流域の湿地保全について」の基調講演を行い、その後、今回のメインテーマでもある「新河岸川から狭山丘陵をを考えてみよう～」についてパネルディスカッションを行いました。

● Aグループ



砂川源流部の様子
数日前に降った雨もあって
湧筋が確認できました。



アーチカルバート橋脚
湿地が分断されないように
と導入された道路橋脚です。



B地区湿地内
太田先生に続き、草をか
き分け進みます。



B地区湿地の北縁
数日前の雨もあって湿地
らしい景観が望めました。

こちらは
ウォーキングです！



こちらは午前の部、ウォーキングの様子です。Aグループには12名、Bグループには37名が参加しました。

● Bグループ



大谷戸湿地
湿地保全型の源流部につ
いて学びました。



八幡湿地
田園保全型の源流部につ
いて学びました。



比良の丘
眺めも良く気持ちのい
い場所でした。



B地区湿地内
一列になって砂川にか
かった板の橋を渡ります。

こちらは
基調講演です！

基調講演は、午前中のウォーキングでB地区湿地を積極的に案内して下さった太田先生に、新河岸川支川砂川源流部湿地の生物の多様性とその保全について話してもらいました。

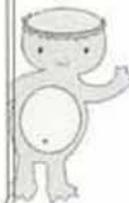
主な内容は以下のとおりです。

- ・狭山丘陵の成り立ちとその特徴
- ・生物学的な観点から見た狭山丘陵の重要性
- ・保全生態学の観点からも狭山丘陵の雑木林と周辺湿地は多様性という点で重要
- ・B地区湿地は県内252箇所の湿地の内最大級で、かつ生物多様性に恵まれている
- ・B地区湿地の現状と保全活動の方法



太田 聡（早稲田大学
自然環境調査室 調査主任）

基調講演は早稲田大学の太田先生にお願ひしました。



基調講演の後のパネルディスカッションでは、基調講演の太田先生を含む5人のパネラーから、以下のような意見が出されました。

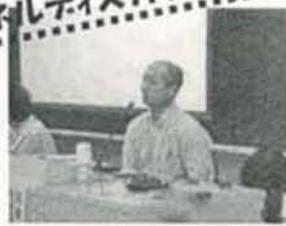
こちらは
パネルディスカッションです！



原 小百合（江戸川大学教授）
水量確保という点では、農業の水の使い方が変化しており水の還元策で工夫が出来ないが、自然の再生は時間がかかるものなので、ある程度の先を目標に置いて議論することが重要だと思います。



正田 浩司（県立所沢高校教諭）
地形のことを考える必要があります。水は低いところに流れ、再び地表に湧水として湧き出します。降った雨は下水道にすぐ流すのではなく、地下に浸透させる自然の調整機能を活用することが重要だと思います。



司会：永石 文明
（砂川流域川づくり懇談会代表）

午後の部では、基調講演とパネルディスカッションを行いました。約70名が参加しました。司会の永石さん（写真上）が、パネラーの意見をとりまとめてくれました。



相馬 和彦（不老川流域川づくり市民の会代表）
不老川の水質確保という点において狭山丘陵源流の保全は重要で、そのためには森林を如何に管理するかということだと思います。

小林 寛治（空堀川に清流を取り戻す会理事）
空堀川の水質確保という点において一つは地下水利用が出来ないかという点、もう一つは源流である六道山公園に植林を行い水の涵養ができないかという試みを考えています。

午後の部では、これらの講演等に合わせて、パネル展や資料展示などを行いました。詳細は次ページを参照下さい。

※次ページに続く

こちらは
パネル展です！

パネル展には、不老川流域川づくり市民の会、所沢源流の会、早稲田大学自然環境調査室&WAVOC、川づくり清瀬の会、黒目川流域川づくり懇談会の5団体が参加し、日ごろの取り組みやイベントの様子などを報告しました。

最後に永石さんの総括と質疑応答をもって、パネルディスカッションならびにフォーラムを終了しました。



武蔵野を探る会の松本さんが作成した「利根川のマップ」を資料として展示



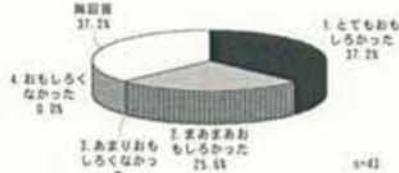
不老川流域川づくり市民の会のパネル展示「こかわを訪ねて」の様子

アンケートと見るフォーラムの様子など！

フォーラムに参加した皆さんに記入・投函してもらったアンケート調査からも当日の様子をうかがうことができます。

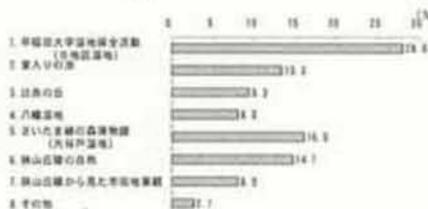
<ウォーキングに関する感想>

Q1：ウォーキングの内容はおもしろかったですか？
ウォーキングの内容については、「とてもおもしろかった」が37.2%、「まあまあおもしろかった」が25.6%で、これを合わせるとおもしろかったと答えた人は62.8%となりました。回答者だけに限ると全員がおもしろかったと答えました。



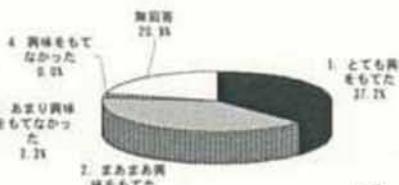
Q2：特におもしろかったり、興味を持った場所はどこですか？

特におもしろかったポイントは、「B地区湿地 (28.0%)」が最も多く、次いで、「さいたま緑の森博物館 (16.0%)」、「狭山丘陵の自然 (14.7%)」、「堂入りの池 (13.3%)」となりました。



<パネルディスカッションに関する感想>

Q3：パネルディスカッションはいかかでしたか？
「まあまあ興味を持った」が39.5%、「とても興味をもった」が37.2%で、これを合わせると76.7%の人が興味を持ったと答えました。



フォーラム (午後の部) の様子

なお、アンケート調査の回答者数は47票で、性別は男性が約7割 (67.4%)、女性が約3割 (27.3%) となりました (4.7%は無回答)。また、年齢は60代が全体の半数 (51.2%) を占め、次いで40代 (16.3%)、50代 (11.6%) の順になりました。回答者の住まいは、所沢市が約4割 (37.2%) と最も多く、次いで東京都 (32.6%)、その他の埼玉県内 (25.6%) となり、所沢市内と東京都からの参加者が多かったことがうかがえます。

WAVOC：早稲田大学平山都夫ボランティアセンター

8月の「川まつり」も大好評でした！

8月のリレーフェスティバルは、黒目川は新座の「第7回 わいわい川あそび」からスタートです。どの会場も晴天に恵まれて大勢の参加者で賑わいました。ここでは、8月中に4箇所の会場で行われた各支川の川まつりをレポートします。

8.7 黒目川 (新座)

第7回 わいわい川あそび ~アユのいる黒目川~

7日 (日) に行われた黒目川 (新座) の川まつりについては、前号の「黒川 (Yot-34)」で好評だった。ふじみ環境クラブの伊藤さんがレポートしてくれました。魚釣りやスイカ割りなど、暑くても楽しく過ごした夏の日の一日が目に浮かぶようです。



前号の富士見江川に続いて、ふじみ環境クラブの伊藤さんがレポートしてくれました。写真も伊藤さんの撮影です。

◆新座・黒目川「第7回 わいわい川あそび ~アユのいる黒目川~

- 【日時】平成17年8月7日 (日) 10時~14時
- 【主催】黒目川流域川づくり懇談会
- 【協力】新河岸川水系水環境連絡会、新河岸川流域川づくり連絡会
- 【後援】新座市、国土交通省 荒川下流河川事務所
- 【参加者】40名
- 【スタッフ】10名
- 【天候】晴れ
- 【場所】栗原1丁目公園横の黒目川
- 【捕れた水生生物たち】

- ・オイカワ (ヤマベ) ・カマツカ
- ・アブラハヤ ・メダカ
- ・モツゴ (クチボソ) ・コイ
- ・ドジョウ ・ウキゴリ
- ・タモロコ ・アユ ・ギンブナ
- ・モクスガニ ・アメリカザリガニ

【内容】

魚捕りの前に、川の中を掃除しました。その後、魚の種類を勉強しました。勉強の後には、アメリカザリガニは欲しい人が持ち帰り、残りは川へ戻しました。

【感想】

多くの親子に参加していただき、楽しみながらお魚捕りをしました。また、身近な川でも生き物が沢山いることと、魚が棲みやよい環境の大切さを知ってもらい、とても良い機会となりました。主催の一人、新井さんに「これからの川まつりに期待すること」について伺ったところ、「黒目川 (新座) の『わいわい川あそび』においても、東久留米市の落合川『わくわく川掃除&川あそび』のように、焼きそばなどの模擬店を出したり、いろいろな団体からの協力を得て、今以上に子供の参加を増やしていきたい」とのことでした。



水槽の魚たちに興味津々の子供たち。できればこの魚を捕まえないか！



魚取りに夢中な参加者の皆さん。狙った魚は取れたのでしょうか？



待ちに待ったボート遊びの時間です。我先にとボートに乗り込みます。



スイカ割りも楽しそうです。写真の子供の一刀両断には恐れ入りました！

8.21 柳瀬川(志木)

柳瀬川・野鳥ウォッチング&水族館!

柳瀬川(志木)では「柳瀬川・野鳥ウォッチング&水族館」が行われました。実はこれ、毎月第3日曜日に行われている定例のイベントで、以前にも本紙で紹介したとおり、野鳥観察組と水族館展示組に別れ、柳瀬川下流域の生物を観察するものです。今回、エコシティ志木では、この定例のイベントを川まつりに位置づけ、参加者の拡充に努めました。

今後の川まつりについてエコシティ志木 代表の天田さんに聞いたところ、「今後は、年1回のイベントとしての川まつりというよりも、現在、年に5回行っている『子供と大人の自然塾』の中に川や魚を題材として取り入れ、地域の人々が川と接する機会を設けたいと思います。年1回のイベントということで、一度に大勢の人々が参加すると、柳瀬川の場合は水量が多くて危険なところもあり監視対策が大変だったりもします。それよりも、私たちの日々の活動の中で、人々が川に親しんでくれる機会が設けられれば良いと思います」とのことでした。



柳瀬川沿いを歩きつつ野鳥を探します。イカルドリが沢山いました。



こちらは水族館の様子。設営前から通行人が足を止めます。



投網を投げての魚取り。ちゃんと漁協の許可を得ているそうです。



さて今日は珍しい魚が取れたでしょうか?水族館は10時からのオープンでした!

8.21 黒目川(朝霞)

黒目川・川まつり

同じく21日(日)に行われた黒目川は朝霞の「黒目川・川まつり」は、上記のとおり、今年は柳瀬川(志木)の川まつりが実質的には無かったに等しいこともあって、おそらくは、柳瀬川下流の子供たちまでがごぞって黒目に押し寄せたのでしょう。とにかく大勢の参加者で賑わいました。

イベントとしては、川掃除の後に川遊びを実施、ザリガニ釣り、ボート遊び、魚取り、スイカ割りなどが楽しめました。また、直ぐそばの堤防上には焼きそばと焼き鳥の模擬店も出店、大いに遊んで腹ペコになった子供たちのお腹を満足させていました。

とにかく、人数の多さと当日の暑さにスタッフも大忙しです。参加者には麦茶やタオルの配給もあり、水分の補給と暑さ避けには特に気をつけているようでした。本当にお疲れさまでした!



川まつり会場の全景です。まずは天候に恵まれて良かったですね!



タモ網を配るスタッフの皆さんも大変そうです!ちゃんと順番は守ってね~!



こちらはザリガニの釣り堀!スルメイカをつけた竿で狙うは「超特大の一匹」か!?



カヌーが楽しそう!でも、水深が浅くてオールは上手く滑りませんでした!



8.21 不老川(入間)

鳥になろう魚になろう 第6回 大森の池まつり

不老川でも21日(日)に「大森の池まつり」が行われました。今年も好評のカヌーはもとより、トンボ取りや魚取りなどのイベントの他、流域内の市民団体が出店する模擬店も沢山出て、充実した川まつりになっていました。

また、今年の新企画としては、子牛を2頭欄に入れ、動物とのふれあいを体感できる「子牛とあそぼ」のコーナーがありました。中には何時間も牛の前から離れない子供もいました。なお、大人気のカヌーの安全管理等は、今年も駿河台大学の生徒さんが手伝ってくれました。

以下に、川まつりの当日に、不老川流域川づくり市民の会の丸橋さんからお聞きした「これからの川まつりに期待すること」について記しました。この先も、少しずつでも、そんな「期待する川まつり」に近づいていけるといいですね!



「子牛とあそぼ」のコーナーの子牛たち。可愛いですね~!?



大人気のカヌーは今年も駿河台大学の生徒さんが手伝ってくれました。



カヌーの順番が待ちきれずに、コースを歩き出す子供たちもいました。

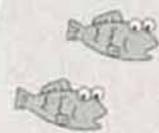


こちらでは自作の水鉄砲の威力を試しています。何処まで飛ばせるかな?

今後の川まつりに期待すること

この2年間は熱気球イベントを行っていませんが、それなりに参加者も増え、地域の人々にも定着してきていると思います。熱気球イベントを行うと、気球を目当てに約400~500人位の参加者は確保できるのですが、他の川遊びをする人が少なくなってしまいます。それでは川まつりとしての意味が無いので、今後の熱気球イベントの導入については判断が難しいところですね。

これからは「大森の池まつり」のような川まつりが、狭山市や川越市の不老川で開催することができれば良いと思います。



こちらのイラストは不老川流域川づくり市民の会の田上さんにお願しました。